

6号機 主要な安全対策工事の進捗状況について

資料1

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- 新規規制基準を踏まえた安全対策工事の施工や、燃料装荷前までに行う使用前事業者検査は一通り実施。
- 現在、原子力規制庁の使用前確認を受けており、試験使用の承認後に、燃料装荷を実施予定（6月10日予定）。
- なお、安全対策工事については、全ての使用前事業者検査を実施し、原子力規制庁の使用前確認をもって完了となるため、それまでの間に気づき等があれば、適宜是正していく。

ガスタービン発電機



万が一の全交流電源喪失時にも重要機器の動力を確保

静的触媒式水素再結合装置（PAR）



触媒の働きで、原子炉建屋に滞留した水素と酸素を水蒸気に変え、水素濃度の上昇を抑制

取水槽閉止板



海水ポンプ点検用の開口部から、津波が建屋内に浸水することを防止

原子炉建屋内緊急時対策所



重大事故等が6、7号機で発生した場合、所員が参集し、事故収束に向けた指揮命令等を実施

水密扉等の浸水防護対策



重要設備が設置されている部屋に、設備の破損で漏れした水等の流入を防止

中央制御室待避室



炉心損傷が発生後、格納容器の圧力逃し操作を実施した際の、運転員の被ばくを低減させるための待避場所として使用

火山灰フィルタ



火山噴火による降灰時、非常用ディーゼル発電設備が火山灰で目詰まりしないよう、給気口にフィルタを設置

コリウムシールド



耐熱性の高い堰を設置し、溶融燃料によって、鋼製の原子炉格納容器境界板が損傷することを防止

フィルタベント設備（地上式）



万が一ベントを行う際でも、大量の放射性物質の放出を防止

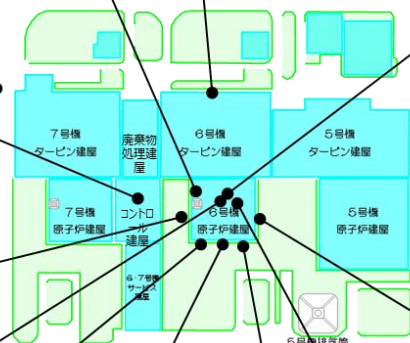
使用済燃料プールに注水するための外部接続口



重大事故発生時に外部から使用済燃料プールに注水ができるよう、消防車を接続

大物搬入建屋

建物を解体撤去し、耐震性の高い建屋に建て替え



燃料取替機



耐震強化工事を実施



ブローアウトパネル閉止装置

主蒸気管破断などによりブローアウトパネルが開放した際、原子炉建屋内の圧力減少後に速やかに開いた隙間を閉止

高圧代替注水系（HPAC）



原子炉隔離時冷却系（RCIC）のバックアップとして、原子炉へ注水
※確認運転はCR引抜後、実施予定

電巻防護ネット（複数箇所）



建屋の開口部に設置し、電巻により飛来した物の侵入を防止

・貫通部対策（火災防護・浸水防護）
・火災防護対策

※ 写真は一部7号機設備のものを使用